

教育サロン・保護者コミュニティ「おひさまの会」、第4回「おしゃべり活動」は現在小学校で「読み聞かせのボランティア」をされている方々やかつて読み聞かせされていた方々等11名が参加、「絵本を通しての子育て」をテーマに行われました。

絵本の魅力、絵本を選ぶポイント、読み聞かせの楽しさ等を語り合い、楽しい雰囲気の中で2時間があっという間に過ぎ、もう一度同じテーマで語り合いたいという意見も出される和やかさでした。その会の概要をお知らせします。

今後もこのような「おしゃべりの会」を計画いたしますので（ホームページにて掲載）、多数ご参加くださいますお待ちしております。



<絵本の選び方>

- ・「絵本サークル」や「読み聞かせの会」からの情報
- ・はじめは図書館で借りてきて中からよいと思うものを購入
- ・母親同士の情報交換

<読み聞かせをして思ったこと。 学校で、家庭で>

- ・家での絵本の読み聞かせと学校での読み聞かせと違う。学校は時間の制限もあるし大勢の子ども達の前で読むので、見やすいものを選んだりすることが必要。
- ・高学年の絵本選びが難しい。「6年生でこんな絵本でいいのかな？」とか
- ・時には学校から「人権や平和」に関する本をとりクエストがあるが、選ぶのが難しい。導入も考えなければならないし、時間の制限もあるので。
- ・本町小学校の葉の会（読み聞かせの会）では以前、子どもの図書委員会と交流をもったことがとてもよかった。児童図書委員会に参加、図書の整理を子どもと一緒にする中で、読み聞かせの感想や要望が聞けたり、葉の会の情報を他の子ども達に伝えてもらうこともできた。また、子ども達が読み聞かせの方法を聞きに来たりして、つながりがもてたことはとても楽しかった。
- ・図書担当の先生とお話する機会を学校側に設定してもらえるとよい。学校側の意見を聞きながら読み聞かせができ、大変参考になる。
- ・読み聞かせ後の子ども達の感想は必要ないと思うが、学校の指導に「お礼の気持ちを伝えるという」スタンスもあるので一概には言えない。

<絵本の魅力 思い出の一冊>

「ぐるんぱのようちえん」 母親自身が大好きな本で、ここから読み聞かせが始まった。

「キラキラ」「ないたあかおに」 泣かされた本

「読み聞かせ絵本」 一つ一つの話は短いが、全部読み終えることで満足感が得られた。

「わすれられないおくりもの」 葉の会の子ども達のリクエストから知った本。死をどう乗り越えるか教えてもらった。

「バッド・キャット」 いたずらだけどいい子。絵が楽しい。

「しあわせなふくろう」 昔話を読むのは難しい。難しい単語が出てくる。

「めぐろのさんま」 話の内容、「オチ」とか子どもに通じないことがあるが新しい言葉を覚えるチャンスかもしれない。

「100万回生きたねこ」 何度も生き返る部分で5年生の男子と言いつきになったことがあった。「愛」を感じる部分で恥ずかしさがあったのかもしれない。

「メイシーちゃんンのベッドにはいます」

仕掛けの絵本。我が子が小さい時、繰り返し読んだ。

<絵本の読み聞かせを通してを通して学んだこと そしてこれからの願い>・子育てでは絵本に助けられたことが多かった。

- ・「本を読む」ことで子どもにかかわっている実感もてた。やさしい自分になれる。子どもとの時間を共有することが大事。
- ・子ども達に絵本の大切さをわかってほしい。
- ・成長するにつれ絵本以外にも興味のわくものがたくさんでてくるが「絵本っていいな・・・」と少しでも思い出してくれれば嬉しい。
- ・一人でも喜んでくれる子がいれば読み聞かせを続けたい。これがボランティアの原点かもしれない。
- ・親に余裕がないとただ文字を読んでいるだけで自分が入っていかない。余裕がないと本の読み方も違っていった。親も余裕をもちたい。
- ・大人も絵本の世界に浸りたい。
- ・父親が積極的に絵本選びや読み聞かせをしてくれた。

記録； 中根

次回の「おしゃべりの会」は中学校の校長先生をお招きします。気軽におしゃべりにきてください。